

# 最新の省エネ・創エネ技術と洗練されたデザインが美しく融合 ワンランク上の住宅を低価格で!

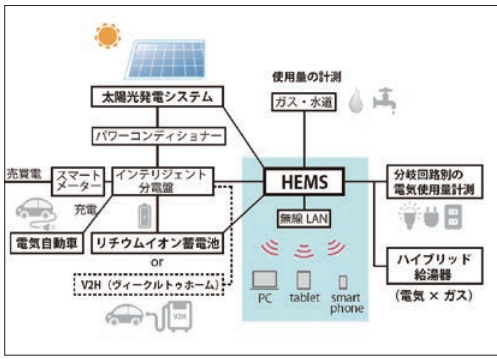
二十一設計

二十一設計(横浜市西区平沼、桑田哲司社長、045・317・6656、<http://www.sst1.jp>)は、平成元年の設立以来、関東を中心とした公共建築の設備設計を手がけ、現在は総合設計事務所として幅広くお客様のニーズに答えている。

同社は注文住宅の設計も手がけ、設備に強い設計事務所として実績に裏付けられた省エネ・創エネ技術を導入したオリジナルスマートハウスシステムを確立するとともに、オープンシステム(分離発注方式)を採用、工事費の低価格化を実現している。

## ■スマートハウス

太陽光発電、蓄電池、HEMS、LED照明、電気自動車の活用など設備的手法による省エネ対策と、二重サッシや高气密断熱、遮熱塗装などの建築的手法を合わせ、卓越したデザイン力で設備と建築を融合させることで、もともとランニングコストのかからない住宅を提案している。



二十一設計オリジナル省エネ・創エネシステム概要



二十一設計 建築設計部門スタッフ「私たちが、あなたの家づくりをサポートします!」

「私たちが、あなたの家づくりをサポートします!」



洗練されたデザイン住宅の設計実例

## ■オープンシステム(分離発注)

日本における家づくりの方法は、ハウスメーカーや工務店に依頼するのが一般的だが、実際に工事を行うのは大工さんや電気業者などの「専門工事業者」だ。当システムは、設計事務所のサポートにより依頼主と専門業者が直接契約や発注を行う建築方式のことです。中間業者の一般管理費を大幅に削減でき、ローコストが実現可能となる。

デザインと機能が美しく融合した上質な住宅を低価格でご提供します。二十一設計の家づくり、詳しくはホームページをご覧ください。

# 「愛車は永く、美しく」世界No.1の自動車防錆システムと大型車用リフト

タフコートジャパン

タフコートジャパン(横浜市都筑区折本町、田村謙征社長、045・472・2712、メール [info@tuff-kote.co.jp](mailto:info@tuff-kote.co.jp)、ホームページ [www.tuff-kote.co.jp](http://www.tuff-kote.co.jp))は、「世界基準の商品・システム」をご提案し、主に自動車防錆システムと大型車用リフトの日本総代理店を運営している。

先代が手がけた、日本上陸から30年以上続く自動車防錆システム「タフコート」&「デニトロロム」は、創業より地域独占加盟契約し、各地域で活躍するタフコート加盟ディーラーが、そのブランドの高い信頼と実績を築いて

いる。世界本部であるDinitrol(ダイノール)社は、世界57の国と地域に防錆ネットワークを広げ、欧州シェア50%を握る世界No.1の防錆企業であり、有名カーメーカーの製造ラインにも導入され、数ある防錆剤ブランドの中でもトップを誇る所以である。日本では、東北・北海道において「タフコート」は既に「最高の自動車防錆ブランド」としての地位を確立しつつあるが、融雪剤散布地域以外での知名度向上と加盟店拡大を今後の目標に掲げている。

また、リフトのデザインおよび先進性から、大型車用リフトでは世界No.1の販売台数とシェアを誇る Steril-KONI(スターテイルコニ)社の日本総代理店でもある。日本で古くから使用され、地中深く掘るピットタイプのリフト

にかかる工事費や工期を削減し、納品後すぐに使用できるモバイルリフトは、今後の大型リフト業界では特に期待される。

「世界に目を向ければ、日本ではまだ普及していない良質な商品やサービスがたくさんあります。そのような世界基準の商品・システムを、自動車防錆や大型リフトを中心に、これからは日本に広めていくことが使命です」と社長は語る。

貴方の車に、御社の財産に、世界No.1クオリティを!



同社の取扱う大型車用リフト



# 「あつたらいいな」を実現する紙書類抜き差し自由自在なファイル『NOUQUE』

キョーワハーツ

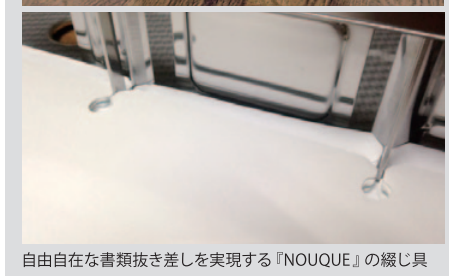
キョーワハーツ(横浜市港北区高田西、坂本悟社長、045・593・6116、<http://www.kyowa-hearts.com>)は、金属プレス加工、金型製作を手がけ、創業以来65年にわたり培ってきた技術力を駆使し、3年がかりで「抜き差し自在なファイル」NOUQUE(ヌーケ <http://nouque.jp>)を開発した。今年7月6日には、テレビ東京ワールドビジネスサテライト「トレンドたまご」でも取り上げられ、世界初の革新的な書類収納方式と注目を浴びている。

同製品は、紙を留める部分(綴じ具)が従来方式と大きく異なる。従来の2穴ファイルが、丸い「綴じ足」(パイプまたはパイプの中に入る棒)を紙に開けられた丸穴に差し込むのに対し、この製品は平らな「綴じ足」がレバー操作で90度回転する機構を持ち、穴は「溝付穴」である。そして、「綴じ足」を溝と同じ方向に向けると抜き差しができ、溝に対して直角の位置になると紙は外れないという仕組みで

ある(特許取得済)。従来方式が綴じ足を上下方向に抜き差しするのに対し、この製品は回転する「綴じ足」から紙を横方向に抜き差しする。専用穴開けパンチャーや、穴を開けずに何でも綴じることができ、アシストプレートなども揃えている。

紙書類のファイリングと出し入れに費やす時間と手間を大きく削減するのが開発のねらい。IT化の進行によって、文書管理の電子化が進んでいるとはいえ、紙で保管しなければならぬ文書は多く、日本国内においても年間2.2億冊の穴あけファイルが販売されているという。

「このファイルなら書類抜き差しの面倒な手間が従来方式より半分程度に削減されるばかりでなく、これまで他に解決策がないと諦めていた分野での利用や企業の事務部門の5Sや生産性向上に役立ててほしい」と販路の拡大をめざす。



自由自在な書類抜き差しを実現する『NOUQUE』の綴じ具